

請願第6号

件名：請願の要旨と各会派の賛否をヨコハマ議会だよりに掲載すること
について

(平成30年9月5日受理)

写

請願書

2018年(平成30年) 9月 5日

横浜市会議長
松本 研 様

請願者 横浜市栄区上郷町1151-127-3-203
上郷開発から緑地を守る署名の会
代表世話人 皆川 昭一

皆川 昭一

紹介議員

岩崎 ひろし

井上 さくら

件 名 市民から提出された請願書の要旨及び採決の結果を
「ヨコハマ議会だより」でも公表すること

請願項目 市民から提出された請願についても、その要旨と市会の採決における
各会派の賛否結果を「ヨコハマ議会だより」に記載することを求めます。

請願の理由・経緯等

本年5月16日に市会に提出した上記の請願項目を含む陳情書に対し、横浜市会議長から、「ヨコハマ議会だよりは、紙面に限りがあることも踏まえ、議案賛否一覧表の掲載について、市長及び議員提出議案に対する各会派の賛否結果を一覧表にまとめて掲載している。」旨の回答がありました。

そこで改めて、下記の理由から市民から提出された請願議案も、市長及び議員提出の議案と同様に扱い、「ヨコハマ議会だより」に、その要旨と各会派の賛否結果を記載することを市会で検討していただくよう求める次第です。

<記>

市長及び市議は選挙で市民が選出し、市民の代表として市政をお任せしていますが、市政の全ての分野において、そのあり方が民意と一致してはおりません。

選挙の際の公約に含まれていないものなどもあり、時間の経過とともに一部の市政のあり方と民意との間に次のような乖離が見られます。

1. 上郷開発については、その周辺の区において人口・世帯数が既に10年ほど前から減少し、その将来推計においても大幅な減少が見込まれおり、市街地開発の必要がありません。また、その立地には、市自らが警告を発している大規模盛土造成地や土砂災害警戒区域が含まれており、神奈川県地震被害想定においても開発計画地の震度は「6～7」が予測され一部は液状化の可能性「極めて高い」エリアとなっていることから、市街地として新たに造成を行うには全く相応しくない土地柄です。

このような土地への市街地開発は、自然災害の未然防止を求める国の国土利用計画や、災害対策基本法、国土強靱化基本法にも逆行しています。

何よりも市街地に残された生物多様性に富む貴重な緑地を、全面保全するよう求める市民の署名が11万7千筆にも提出されており、開発賛成の署名は900筆弱に過ぎません。横浜市が実施した市民アンケートにおいても98%以上の市民が緑地の維持・拡大を望んでいます。唯一、市が募集した意見書においては、開発の賛否意見が相半ばする結果となっていますが、不思議なことに開発の根拠となる区域区分の変更について定めた「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針案」については、反対意見が8561通も提出されたのに対し、賛成意見は全く提出されていません。

これらのことから、市民の大多数は開発を望んでいないことが分かりますが、先般提出した上記の開発の安全面に特化した請願（横浜市による開発地の将来長きにわたっての安全性の保証の担保を求めるもの）は不採択となっており、ここに民意と市会の判断において乖離が生じています。

2. カジノを含む統合型リゾート（IR）実施法案が国会で強行採決され法となりましたが、現在刑法で犯罪とされているカジノの合法化＝民間業者による賭博場開設運営の解禁には、国民の7割以上が反対しています。

ところが、昨年市民が提出した2件の請願「カジノ誘致に関する住民投票の実施について」、「カジノ開設に反対する決議について」の議決結果は不採択とされ、民意と市会の判断において乖離が生じています。

3. 上記1及び2の請願については、市民が大きな関心抱いている事柄にもかかわらず、このような請願が提出され不採択となったことをメディアが全く報じなかったこともあり、市民のほとんどが知り得ていません。

市民から提出された請願の趣旨と市会による採決の結果は、市会のホームページで知ることができますが、大多数の市民にとっては市会のホームページを常に確認することは実際的ではありません。

そこで、このような情報はメディアの報道の有無に関わらず、市会として「ヨコハマ議会だより」に記載して市民に周知しておく義務があると考えます。

4. またこの情報の市民への周知は、市民が選んだ市議が市会においてどのような判断を下しているかを市民が知り、民意と市政の間の捻れや乖離がないか点検できることによって、次期市議選挙に際しての不可欠な判断材料となります。より民主的な市政を実現する上で、非常に有効な情報提供であると考え次第です。

連絡先：

横浜市栄区上郷町 1151-127-3-203
上郷開発から緑地を守る署名の会
代表世話人 皆川 昭一